

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
戸別訪問の実施件数	0	0	12	1	5

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進
資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

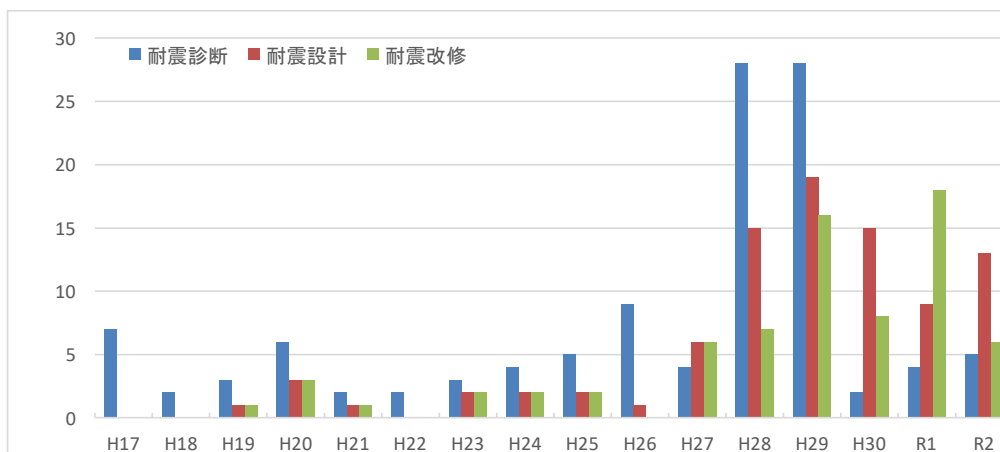
	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	2	2
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	1	2	2	2	2
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	3	0	3
耐震改修技術学校	4回× 2会場	3回× 1会場	4回× 1会場	0	4回× 1会場
耐震補強工事実務講習会	4	5	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
広報誌等への掲載	12月・2月	—	2月	10月・11月	10月
イベントでのブース展示	—	11月	11月	—	—
庁舎内パネル展示	—	—	—	1月	11月

耐震改修の実績

(棟数)	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断	28	2	4	5	
耐震設計	19	15	9	13	
耐震改修	16	8	18	6	10



前年度の取組内容

新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施しておりました個別訪問は取りやめた。(別件で1戸のみ訪問。)

三密にならないよう感染症対策を取った状態で、令和3年1月に庁舎内に耐震に関するパネル展示を実施。その他、10月・11月と地震対策に関する補助金内容を記載したチラシを作成し、芸西村全域に配布した。

見えてきた課題

地震対策に関する内容を記載したチラシを芸西村全域に配布しても、問い合わせ・申請があるのはわずかであった。

実際、耐震事業者が芸西村内の家を周って耐震改修の必要性を宣伝してもらう方が、申請件数が多い。また、外から見る限り耐震性の必要が無いと思われる家でも耐震診断してみると基準以下になる家もいたため、まずは耐震診断の必要性を村民に訴えていく必要があると感じた。

今年度の取組内容

今年度も芸西村全域に地震対策に関する記事を作成し広報にて配布する。またパネル展示も行う。チラシについては、補助金内容の説明と実際に補助金を活用された方にインタビューした記事を盛り込み、利用者に制度をPRしていく。

また、耐震業者とも連携し、耐震診断済み住宅に対してアプローチを行っていく。

